

多機能ビデオプロセッサ G111

クイックスタートガイド



このたびは GeoBox 幾何学補正プロセッサをお買い上げ下さいまして、誠にありがとうございます。このクイックスタートガイドでは、機器接続方法および基礎的な設定方法を簡単にご紹介します。詳細は、以下 URL より取扱説明書をダウンロードしてご覧下さい。

<https://jimgs.jp/support/downloads/vns.html>



同梱品の確認

製品本体 / アフターサービス規定 / AC アダプター / リモコン (単 4 電池 2 個付属)
/ リモコン延長用ケーブル

機器の接続方法

すべての機器が電源 OFF の状態から接続を始めて下さい。

1. ソース機器および表示機器と GeoBox の INPUT・OUTPUT 端子を繋ぎます。
2. GeoBox に付属の電源アダプターを接続し、電源スイッチを ON にします。
3. 表示機器の電源を ON にします。
4. ソース機器の電源を ON にします。

GeoBox の基本セットアップ

1. EDID の設定を行います。リモコンで OSD メニュー を呼び出し、Options > Setting > EDID から、入力解像度と同じ解像度を選択します。



2. 出力解像度の設定を行います。OSD メニューの Image Properties > Output Mode から任意の解像度を選択します。

以降は、拡大表示と幾何学補正の設定手順をそれぞれ説明します。

タブレット・スマートフォン映像の拡大表示の設定手順

タブレット・スマートフォンなどの映像を縦表示のモニターにフルスクリーン表示する設定手順を説明します。

1. 映像ソースのアスペクト比を保ったまま拡大したい場合は、OSD メニューの Image Properties > Scaling > Original AR を選択します。
(モニターにフルスクリーン表示したい場合は、Full Screen を選択します。)
2. 映像の回転を行います。OSD メニューの Image Properties > Rotation から、モニターの向きに合わせて 90°または 270°を選択します。
3. 映像ソースを水平方向に拡大します。映像ソースの左部がモニター画面領域の左端に届く位置まで、OSD メニューの Video Wall > Overlap > Left Edge にマイ

ナスの値を入力します。次に Video Wall > Overlap > Right Edge に Left Edge で入力した同じ値を入力します。

4. 必要に応じて映像ソースを垂直方向に拡大します。映像ソースの上部がモニター画面領域の上端に届く位置まで、OSD メニューの Video Wall > Overlap > Top Edge にマイナスの値を入力します。次に Video Wall > Overlap > Bottom Edge に Top Edge で入力した同じ値を入力します。

※ 接続するスマートフォン・タブレット端末によって、入力するオーバーラップの適正值は異なります。

幾何学補正の設定手順

投写映像を最終的に投写したいエリアに合わせて調整します。レーザー墨出し器等を使用し、予めスクリーンの水平・垂直位置の目印をつけておくと、より精度の高い補正を行うことが可能です。

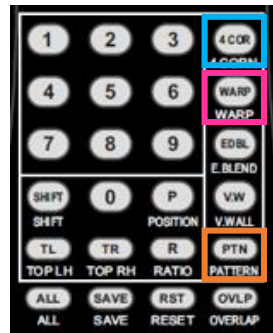
1. 最終的に映し出すエリアより大きく映像を投写します。元々の投写範囲を超えて幾何学補正をすると、範囲外にはみ出す部分は映像が切れます。映像は大きめに打ち出し、幾何学補正機能で縮小して調整を行って下さい。



2. GeoBox に内蔵されている格子状のグリッドを表示させます。OSD メニューの Anyplace > Grid Size からクロスハッチのサイズを設定します。

3. リモコンの PTN ボタン押下で、グリッドパターンを表示させます。押す度にグリッドの色が変わります。

4. リモコンの 4COR ボタン押下で、[2x2]ポイント補正モードに入ります。このモードでは四角形の4隅のポイントを選択して幾何学補正を行います。矢印キーで起点を選択し、OK ボタンで確定した後、矢印キーで起点を動かしてスクリーンの端とグリッドの端を合わせていきます。

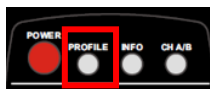


5. 2x2 モードで調整が足りない場合、リモコンの WARP ボタンを押下し、[3x3]・[5x3]・[9x5]・[17x9]から任意のモードを選び、4と同様の要領で調整を行います。平面や凹凸の無い湾曲面であれば通常[9x5]以下で補正を完了できます。

※幾何学補正は必ずポイント数が少ないモードから多いモードへ順番に行ってください。数が多いモードから少ないモードに戻ると補正値がリセットされます。

設定の保存と呼出

Profile 機能を使い、設定の保存を行います。リモコンの Save ボタンを押下した後、0~9 (0 は Profile10 とリンク) の番号を押下すると保存されます。設定を呼び出す際は Profile ボタンを押下した後、0~9 の番号を押下します。



※OSD メニューの Options >

Setting >Profile > Load・Save から

同様の保存と呼び出しを行うことも可能です。

